

Creating Value with You お客様とともに“快適な水まわり”を創造する。

KVK 通信

2017
夏号





Creating Value with You

お客様とともに
“快適な水まわり”を創造する。



常に使う人の身になって考えた、
誰にでも「もっと使いやすく、もっと心地いい」水まわり商品を通して、
環境にやさしい、快適な水まわりを提案し、
人々の生活を豊かにする。

常に「品質・スピード・発想力」をもって、
お客様の満足の追求とお客様の一步先に行く提案力で、
お客様のこだわりを「カタチ」にします。
お客様とともに安全・安心・快適・エコで新しい価値(感動・満足)を創りあげ、
お客様からパートナーとして選ばれ続けます。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
近年、お客様の価値観やライフスタイルはますます多様化し、私たちを取り巻く住環境は「健康で快適な生活」や「環境との共生」などが求められるようになっていきます。

そうしたなかKVKグループは、「お客様と快適な水まわりをつくる企業」として、お客様のニーズに応えた新しい生活スタイルを提案する市場創造型の商品・サービスを生み出し続け、人々の生活が豊かになるような価値創造に取り組んでいます。創業80周年に向けて、業界No.1をめざしたKVKグループの挑戦は続きます。

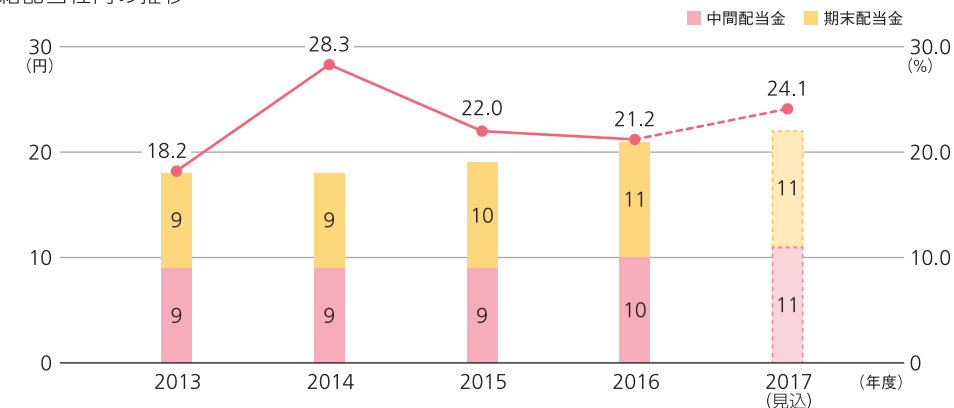
なお当社は、次なる成長への投資に必要な内部留保などを勘案しつつ、業績に応じて株主還元に充てることを利益配分の基本的な考え方としています。当期末配当につきましては、前年度期末配当から1円増額となる1株当たり11円とし、中間配当10円と合わせ年間で21円(前年度19円)とさせていただきます。

今後もグループ一丸となってさらなる成長のために邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2017年6月
代表取締役社長 末松 正幸



1株当たり配当金/連結配当性向の推移





代表取締役社長 末松 正幸

あるべき姿をしっかりと描き、 今やるべきことを確実に実行していきます

ここ数年にわたり取り組んできた改革で、成果が出始めています。成長をより確実なものにするために何をするのか。その取り組みや方針などについて、社長の末松正幸がご説明します。

営業利益、経常利益とも過去最高を更新

当期の住宅市況は、各種の住宅取得支援策に支えられ、緩やかな回復基調が続きました。こうしたなか当社は、営業から開発・生産技術・調達・生産・物流までが一丸となってコスト削減活動などを積み重ねてまいりました。その結果、当期の利益は、上期に為替による材料安の後押しもあり、営業利益が25億85百万円(前期比

35.9%増)、経常利益が26億76百万円(前期比33.2%増)とそれぞれ過去最高を更新しました。

今後も、この結果に慢心することなく、「コスト戦略」「成長戦略」のもと、外部要因に影響されにくい事業基盤づくりを推し進めてまいります。

競争力のある工場づくりを

昨年10月、富加工場の新砂型鑄造設備が予定通り始動しました。長年培った鑄造技術と省エネ・省人化に

対応した最新設備をマッチングさせ、多品種少量生産、品質改善、経費削減などコスト競争力のある工場づくり

をめざしています。

ここ数年にわたる次への成長に向けた投資により、水栓金具をカタチづくる金属と樹脂の同工場内での一貫生産が可能となりました。今後は今まで以上に、開発や品質保証、生産技術、製造部門が密に情報を共有しあい、製造上の課題解決に迅速に取り組むことにより、事業基盤のさらなる強化につなげていきます。



富加工場の鑄造工程

競争力の高いグローバル生産体制の確立へ



フィリピン生産子会社

昨年9月に設立したフィリピンの生産子会社は、この5月に開所式を行い、6月から生産をスタートしました。

同社では、主に機能部品の組付けを行い、日本へ輸出します。市場が求める価格の実現に向けて、現地の社員にKPS(KVK Production System)活動のノウハウを指導し、品質・コストのつくりこみを行っています。

今後、縮小が見込まれる国内住宅市場で勝ち残るためにも、日本・中国大連・フィリピンの各工場が連携し、それぞれの強みを活かして、品質や生産性の向上、最適な部材調達、製造原価の低減などに努めることにより、グローバルでのコスト競争力の高いモノづくりを推進していきます。

お客様を起点にPDCA(計画・実行・評価・改善)を回す

当社の営業活動においては、攻略しきれていないエリアがいくつもあります。そのため、それらの現場に足を運んでお客様と向き合い、商品の魅力を伝えるとともに、お客様の課題解決や価値づくりを考え、商品開発やサービス向上に活かす取り組みを行っています。

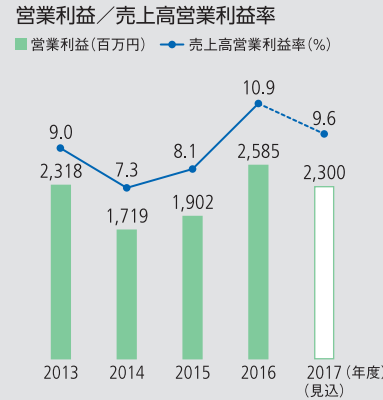
例えばキッチンでは、水栓上部に収納棚などの制約がある場合でも、空間デザインに調和しつつ設置可能な水栓が求められていました。そうしたお客様の要望に引き合い、商品化したのが“L形デザイン”という新しい

コンセプトのキッチン水栓です。

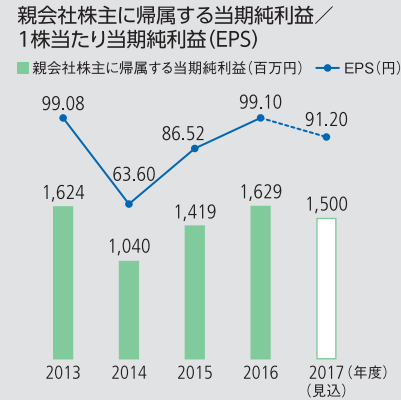
これからも、お客様から常に必要とされるために、お客様の生の声に耳を傾け、そのニーズに的確に応えられる商品のラインアップを充実させながら、きめ細かな営業活動を着実に進めてまいります。

ここ数年にわたり取り組んできた改革により成果が出て、徐々に収益力もつきはじめています。成長をより確実なものにするため、あるべき姿をしっかりと描いて、今やるべきことを実行してまいります。

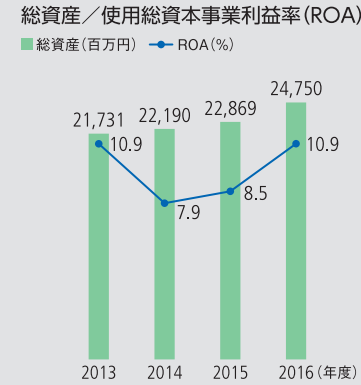
連結財務データ



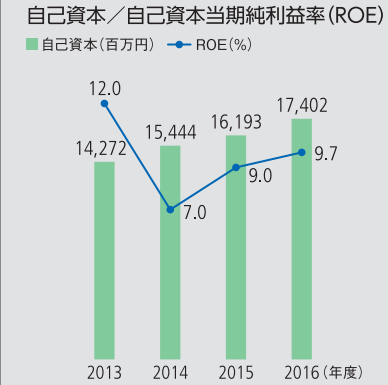
※売上高営業利益率=営業利益/売上高×100
 ※2015年度より従業員住宅の受取家賃の表示方針変更に伴い、2014年度について遡及修正しています。



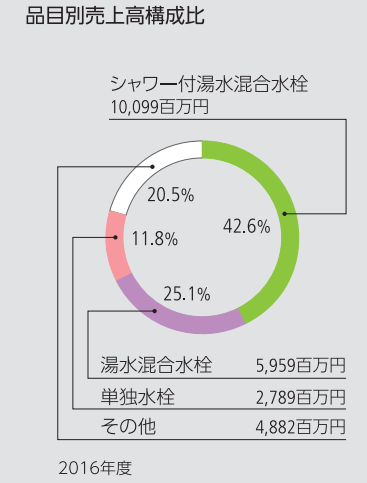
※期中平均発行済株式総数(自己株式数除く)で算出しています。
 ※会計基準等の改正に伴い、2015年度より従来の当期純利益を、親会社株主に帰属する当期純利益としています。



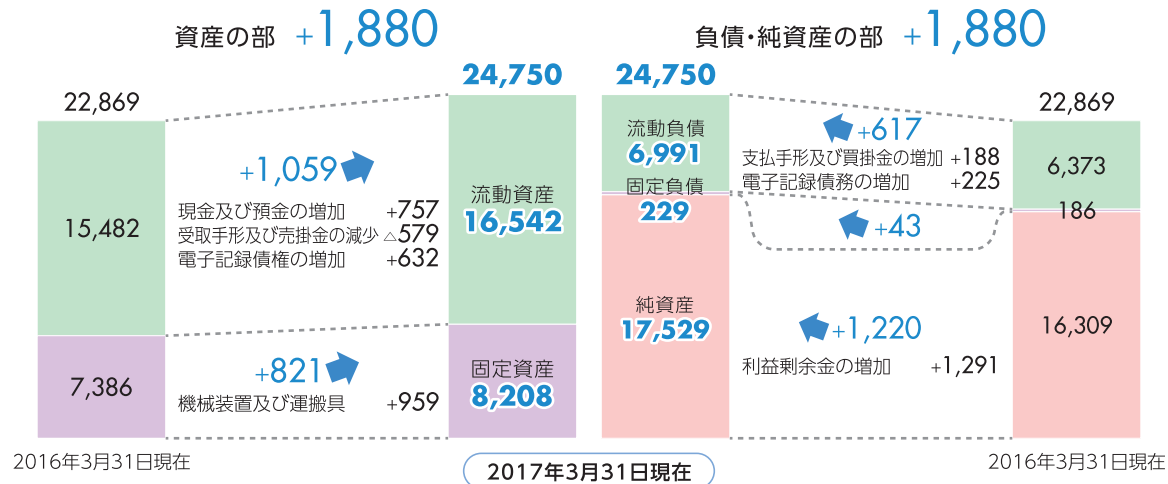
※使用総資本事業利益率(ROA)=(営業利益+受取利息及び配当金)/総資産(期中平均)×100
 ※営業利益は左記の通り、2014年度について遡及修正しています。



※自己資本当期純利益率(ROE)=当期純利益/自己資本(期中平均)×100
 (自己資本=純資産-非支配株主持分-新株予約権)
 ※2015年度より、少数株主持分を非支配株主持分としています。



連結貸借対照表の概要 (百万円)



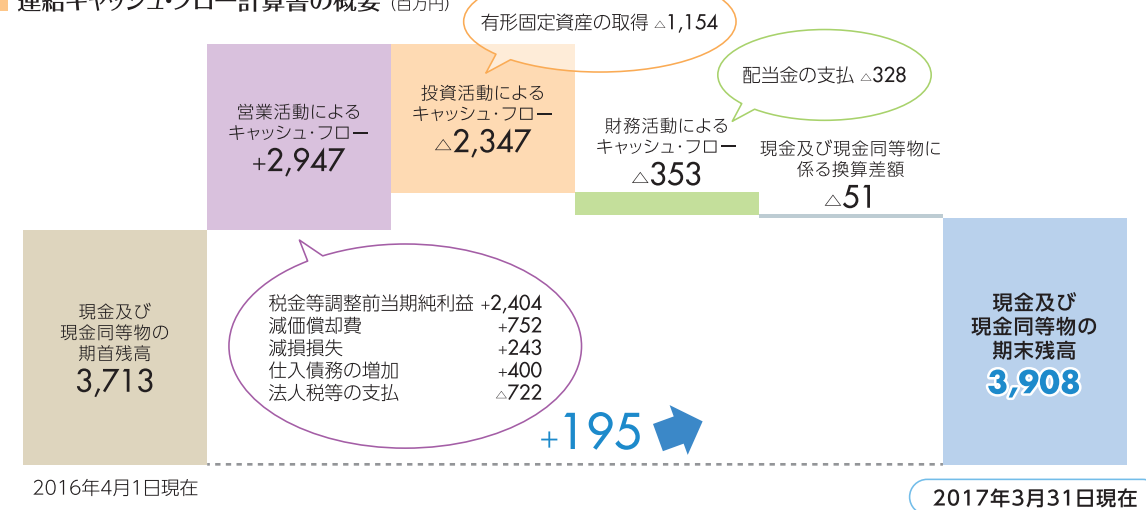
売上高

政府による継続的な住宅取得支援策に下支えされ、新設住宅着工戸数が堅調に推移するなか、きめ細かな営業活動を積極的に推し進めた結果、前期に比べ3億47百万円増加し、237億30百万円となりました。

営業利益

為替、受注の変動に柔軟に対応できる最適生産体制づくりに取り組みとともに、グループ丸となってトータルコストの引き下げに努めた結果、前期に比べ6億83百万円増加し、25億85百万円と過去最高益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



流動資産・流動負債/純資産の部

流動比率は、前期末に比べ、6.3ポイント減少し、236.6%となりました。自己資本比率は、前期末に比べ、0.5ポイント減少し、70.3%となりました。1株当たり純資産額は71円65銭増加し、1,058円13銭となりました。

※見直しに関する注意事項:業績の見直しは現時点での予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。様々な要因により、変動する可能性があります。
 ※記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。

C LOSE-UP

“L形”デザインのキッチン水栓を発売

水栓上部の空間に制約があるキッチンにも対応できる“L形”のシングルレバー式シャワー付水栓「KM6101EC」「KM6111EC(センサー付)」を本年6月より発売しました。



2015年8月より発売した「グースネック水栓」は、その美しい曲線形状により、アイランドキッチンなど中高級ゾーン向け水栓としてご好評をいただいています。

しかし、美しい曲線形状であるがゆえに、水栓上部の空間に制約があるキッチンには設置できない場合があります。そのため、グースネック水栓の高いデザイン性を踏襲しつつ、そうしたキッチンにも対応できる水栓を求める声が多くありました。

そこで開発したのが“L形”デザインのキッチン水栓です。高さを抑えたL形なので水栓上部に昇降棚などがあるキッチンでも設置可能です。大きく広い吐水口空間がとれるので、大きな鍋やフライパンも楽に洗えます。

センサー付の「KM6111EC」は、汚れた手でも触れることなく出・止できるため、天板や水栓を汚すことなく、掃除も簡単に行えます。



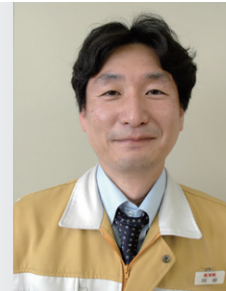
シャワーヘッド引出し ストレート吐水 NSFシャワー吐水



首振りヘッド



KM6101EC



開発部 設計二課 課長
阿部 洋史

開発の声



開発部 設計二課 副主任
蒲 将也

L型デザインは、長いパイプがほぼ真横に延びるため、パイプとヘッド部が自重で下に傾いてしまう問題がありました。それは見た目には良くないだけでなく、がたつきも発生します。そのため、部品と部品の接続部の調整を1/100mm単位で何度も行うことで、部品嵌合部の動きを最小限にしました。

また、センサー部にも苦労しました。一般的にグースネック水栓はセンサー部が水栓上部にあるため、手をかざす際に手についた水や泡が水栓本体やセンサー部に垂れることがあります。これを解決するため、センサー部をパイプの右側面に設置。しかし、側面部は手をかざす時間が短くなる傾向があり、その時間で使いやすく感じられる感知距離や感知スピードを出さなければならず、モニター試験と試作を何度も繰り返しました。

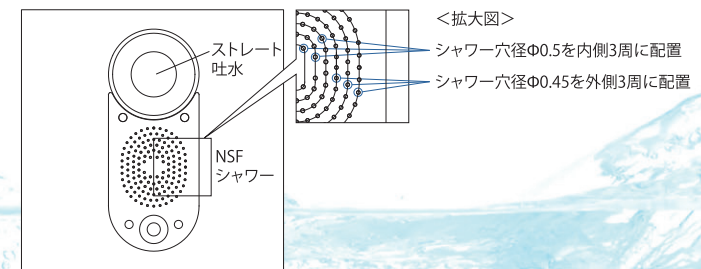


センサー 待機時サイン 吐水時サイン

開発で苦労したのは、デザイン性とコンパクト性を高いレベルで維持しながら、シャワーヘッドにシャワーとストレート吐水の切替機構部を収めることでした。また、流路が狭い構造のなか、ストレート吐水の整流性を高めることにも苦労しましたが、部品の形状変更などの試作を繰り返し問題を解決しました。

こだわったのは、相反するシャワーの“きめ細かさ”と“手触り感”を同時に実現するシャワー穴径と穴の配置です。何度も試作を行い、2種類の穴径を楕円状に配置することで課題をクリアしました。中抜け感がなく、洗い物のよごれをより落としやすくするとともに、水ハネも少なく快適にご使用になれます。

● 快適NSFシャワー穴形状



会社概要

2017年3月31日現在

商号	株式会社 KVK KVK CORPORATION	
創業	1939年2月5日	
設立	1949年1月25日	
資本金	28億 3,142万 5,000円	
主要営業品目	1. 水栓金具 サーモスタット式シャワー・湯水混合水栓 シングルレバー式シャワー・湯水混合水栓 定量止水付サーモスタット式シャワー・ 湯水混合水栓 2ハンドル式シャワー・湯水混合水栓 洗髪シャワー、単独水栓、自動水栓 2. 継手、排水金具 3. 水栓部品	
本社	岐阜県岐阜市黒野308番地 〒501-1195 Tel (058) 239-3111	
工場	本社・富加・飛騨古川	
支社	東北・関東・関西・西日本	
営業所 2017年 4月1日現在	札幌・盛岡・仙台・北関東・さいたま・東京・ 東京特需・千葉・西関東・名古屋・大阪・大阪特需・ 岡山・広島・福岡・鹿児島	
出張所	新潟・静岡・北陸・京滋・神戸	
従業員数	776名(連結1,253名)	
子会社	大連北村閥門有限公司(中国)・ KVK PHILIPPINES, INC.	
役員 2017年 6月28日現在	代表取締役社長	末松 正幸
	取締役	佐野 孝之
	取締役	小関 智晶
	取締役	森田 恭二
	取締役	坪田 充夫
	取締役	藤井 邦彦
	取締役(社外)	奥田 真之
	常勤監査役	栗野 秀広
	監査役(社外)	木村 静之
	監査役(社外)	杉浦 勝美

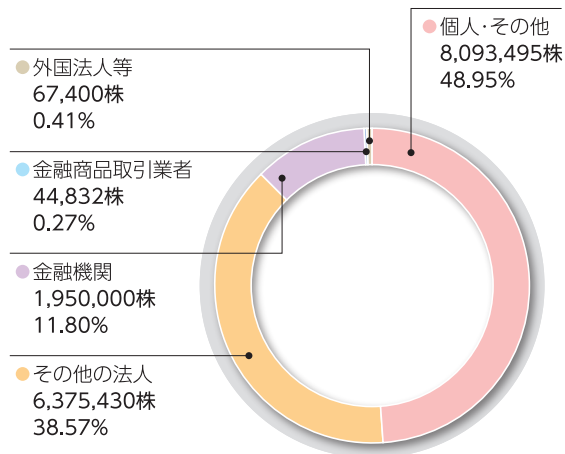
(注) 1. 単独の従業員数には、当社から他社への出向者を除いています。
また、連結・単独の従業員数には、臨時社員を含めています。
2. すべての社外取締役および社外監査役を国内の金融商品取引所が定める
独立役員として指定しています。

株式の状況

2017年3月31日現在

株式の総数	発行可能株式総数	46,241,000株
	発行済株式の総数	16,531,157株
株主数	1,317名	
大株主	株主名	持株数(千株) 持株比率(%)
	有限会社北村興産	2,264 13.77
	株式会社十六銀行	800 4.86
	岐阜信用金庫	747 4.54
	KVK取引先持株会	696 4.23
	元気なぎふ応援基金	539 3.27
	北村博志	537 3.26
	北村嘉弘	529 3.21
	末松容子	515 3.13
	KVK従業員持株会	456 2.77
	渡辺パイプ株式会社	447 2.72

所有者別株式分布状況



(注) 大株主の持株比率は、自己株式(84,338株)を控除して算出し、小数点3位
以下を切り捨てて表示しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
定時株主総会の基準日	3月31日(その他必要のある場合は、あらかじめ公告した日)	
配当の基準日	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社	
単元株式数	1,000株	
公告方法	電子公告 ※掲載先インターネットホームページ http://www.kvk.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。	

株式に関するお問い合わせ先

株主様の住所変更、買取請求など各種お手続きの窓口につきましては、株式のご所有状況によって異なりますので、ご注意ください。

株式のご所有状況	お問い合わせ先
証券会社等の口座をご利用の場合	お取引口座のある証券会社等
「特別口座」に記録されている場合	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行 証券代行部 Tel:0120-782-031(通話料無料)

※支払期間経過後の配当金に関するお問い合わせは、三井住友信託銀行株式会社 証券代行部お願いいたします。

株式併合および単元株式数の変更についてのご案内

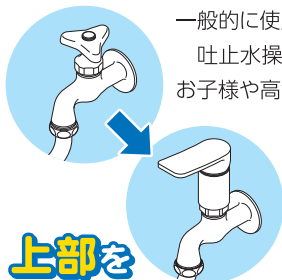
- 当社は2017年10月1日をもって、
- ①株式併合により普通株式2株を1株に併合します。
 - ②単元株式数(売買単位)を1,000株から100株に変更します。

※株主様におかれましては、これに伴う特段のお手続きの必要はありません。
※株式併合により、発行済株式の総数が2分の1に減少することとなりますが、純資産等は変動しないため、1株当たりの純資産額は2倍となり、
株式市況の変動など他の要因を除けば、当社株式の資産価値に変動はありません。

水栓ハンドルが早変わり! (PZS400)

ハンドルをひねるタイプの水栓をお使いの方は、両手がふさがっている時に蛇口を操作できず、困った経験があるかもしれません。シングルレバー上下操作ユニット、PZS400はハンドル上部を現在お使いの水栓と交換するだけで、操作の簡単なレバー水栓に替えることができます。家庭で一般的に使用されている水栓^(※)に適應するので、多くの方にご使用頂けます。

吐止水操作はハンドルの上げ・下げだけ。手の甲や指一本で操作できるため、お子様や高齢の方にとっても、より使い勝手の良い水栓となります。



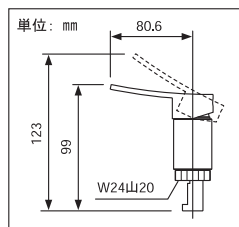
**上部を
交換するだけ**
操作がカンタンな
シングルレバーに
早変わり!!

※呼び13の単水栓または混合栓(JIS規格または同等品)
※水栓上部に逆止弁が付いたタイプには別途逆止弁が必要になります。
※水栓の形状や構造が特殊なものなど、一部取り付け出来ない場合があります。

カンタン上下操作
(上げるほど多く出ます)



※レバーハンドルの向きを正面ではなく、左右にずらして取付けも可能です。



株主優待制度のご案内

1994年11月に株式会社店頭公開1周年を記念して、株主優待制度を設置し、ご好評をいただいています。

2015年からは優待品のバリエーションを広げるため、入浴剤から入浴用品に優待内容を変更させていただきました。



株主優待を受けることのできる方

2017年3月31日現在、
1,000株以上所有の株主

優待内容

3,000円相当の入浴用品を進呈
(6月下旬送付)